



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月3日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
 コード番号 1730 URL <http://www.asofoam.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花岡 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 植村 亮二
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 044-422-2061

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	790	23.1	13		10		14	
30年3月期第1四半期	1,027	25.1	67		66		47	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	4.33	
30年3月期第1四半期	14.05	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,283		1,294			39.4
30年3月期	3,195		1,327			41.5

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 1,294百万円 30年3月期 1,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		5.00	5.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	0.4	20		19		12		3.52
通期	4,700	24.6	110		119		83		24.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	3,420,000 株	30年3月期	3,420,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	6,194 株	30年3月期	6,194 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	3,413,806 株	30年3月期1Q	3,413,806 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	7
受注高、完成工事高及び繰越工事高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、原料高が重荷となり景気拡大に足踏み感が出てきましたが、輸出・生産活動・設備投資に加えて、個人消費なども底堅く推移し、緩やかな回復基調が持続しました。

建設業界におきましては、民間住宅・非住宅投資は堅調に推移したものの、公共投資は平成28年度補正予算の執行による押し上げ効果が一巡したことから、前年同四半期と比較して建設投資はほぼ横ばいで推移しました。しかしながら、原油などのエネルギー価格の高騰を受けて資材価格が上昇し、採算面では依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社は営業力の増強と施工の効率化に取り組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

当第1四半期累計期間の業績は、気泡コンクリート工事の受注高は順調に推移しましたが、地盤改良工事の受注高が発注時期の遅れや価格競争が激しかったことで前年同四半期に比べ減少し、工事全体の受注高は931百万円（前年同四半期比8.0%減）と減少しました。売上高につきましても、前事業年度からの繰越工事が増加していたものの着工時期の遅れにより、売上高は790百万円（前年同四半期比23.1%減）と減少いたしました。

各段階の損益につきましては、売上高は減少しましたが、工事施工が順調に推移し、また前年同四半期に工事施工不良発生による工事損失引当金を計上したこともあり利益率が改善し、営業損失13百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）、経常損失10百万円（前年同四半期は経常損失66百万円）、四半期純損失14百万円（前年同四半期は四半期純損失47百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏するという傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ88百万円増加し3,283百万円となりました。その主な要因としましては、完成工事未収入金が164百万円減少しましたが、現金預金が211百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ120百万円増加し1,988百万円となりました。その主な要因としましては、工事未払金が52百万円減少しましたが、支払手形が47百万円、借入金が114百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ32百万円減少し1,294百万円となりました。その主な要因としましては、配当金の支払いや当第1四半期累計期間に四半期純損失を計上したことにより、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、今後需要が見込まれ、施工体制も整えていることから、平成30年5月11日に公表しました平成31年3月期（第2四半期累計期間及び通期）の業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	374,839	586,345
受取手形	245,122	265,911
電子記録債権	144,745	161,706
完成工事未収入金	660,436	496,014
売掛金	5,177	11,763
未成工事支出金	25,554	11,351
原材料及び貯蔵品	50,266	66,890
前払費用	16,636	19,261
その他	31,931	36,882
流動資産合計	1,554,711	1,656,126
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	57,182	59,807
構築物（純額）	1,163	1,105
機械及び装置（純額）	94,041	88,516
車両運搬具（純額）	768	672
工具、器具及び備品（純額）	8,292	7,608
土地	1,122,839	1,116,774
リース資産（純額）	66,327	59,888
有形固定資産合計	1,350,615	1,334,373
無形固定資産		
ソフトウェア	1,814	1,566
リース資産	13,320	12,210
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	17,484	16,126
投資その他の資産		
投資有価証券	29,337	28,807
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,959	4,959
長期前払費用	2,435	2,201
繰延税金資産	122,226	127,674
敷金	13,878	13,778
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△20,374	△20,374
投資その他の資産合計	272,636	277,220
固定資産合計	1,640,736	1,627,720
資産合計	3,195,447	3,283,847

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	496,187	543,677
工事未払金	346,577	293,595
短期借入金	32,000	—
1年内返済予定の長期借入金	189,000	229,700
リース債務	30,491	28,249
未払金	72,977	62,808
未払費用	3,801	5,636
未払法人税等	423	5,951
未払消費税等	14,349	14,830
未成工事受入金	5,926	2,387
賞与引当金	23,733	35,269
その他	4,921	7,337
流動負債合計	1,220,389	1,229,443
固定負債		
長期借入金	365,000	470,800
リース債務	55,967	50,112
退職給付引当金	189,884	199,605
役員退職慰労引当金	37,124	39,032
固定負債合計	647,975	759,550
負債合計	1,868,364	1,988,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	985,000	885,000
固定資産圧縮積立金	1,015	988
繰越利益剰余金	△73,469	△5,300
利益剰余金合計	936,595	904,737
自己株式	△1,529	△1,529
株主資本合計	1,324,665	1,292,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,416	2,046
評価・換算差額等合計	2,416	2,046
純資産合計	1,327,082	1,294,854
負債純資産合計	3,195,447	3,283,847

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,027,548	790,605
完成工事高	1,012,410	773,809
商品売上高	15,137	16,795
売上原価	926,954	642,556
完成工事原価	917,096	631,968
商品売上原価	9,858	10,587
売上総利益	100,593	148,048
完成工事総利益	95,313	141,840
商品売上総利益	5,279	6,207
販売費及び一般管理費	168,428	161,802
営業損失(△)	△67,834	△13,754
営業外収益		
受取手数料	79	63
受取配当金	27	38
受取技術料	3,968	4,992
営業外収益合計	4,075	5,094
営業外費用		
支払利息	1,329	1,206
為替差損	1,420	91
雑支出	14	514
営業外費用合計	2,763	1,812
経常損失(△)	△66,523	△10,472
特別利益		
固定資産売却益	693	—
特別利益合計	693	—
特別損失		
減損損失	—	6,064
固定資産除却損	545	—
特別損失合計	545	6,064
税引前四半期純損失(△)	△66,375	△16,536
法人税、住民税及び事業税	540	3,540
法人税等調整額	△18,951	△5,288
法人税等合計	△18,410	△1,748
四半期純損失(△)	△47,964	△14,788

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 補足情報

受注高、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)		前事業年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	584,017	57.7	815,515	87.6	2,538,621	65.4
地盤改良工事	427,659	42.3	128,200	13.8	1,261,556	32.5
その他工事	—	0.0	△12,700	△1.4	80,750	2.1
合計	1,011,676	100.0	931,015	100.0	3,880,927	100.0

(2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)		前事業年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	527,090	52.1	544,056	70.3	2,378,828	63.9
地盤改良工事	460,162	45.4	209,648	27.1	1,260,300	33.8
その他工事	25,158	2.5	20,104	2.6	86,032	2.3
合計	1,012,410	100.0	773,809	100.0	3,725,161	100.0

(3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間末 平成29年6月30日		当第1四半期累計期間末 平成30年6月30日		前事業年度末 平成30年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	400,216	62.8	774,540	81.4	503,081	63.3
地盤改良工事	168,050	26.3	120,361	12.7	201,810	25.4
その他工事	69,456	10.9	56,528	5.9	89,332	11.3
合計	637,724	100.0	951,429	100.0	794,224	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は(前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高)に一致しております。